

川でむすぶ

<行事案内>

記事案内

予定:川下り 9月10日

報告:①年次総会、②表彰、③川
ばた会議、④福寿草祭り、⑤サイ
クリング、⑥水質一斉調査、⑦県
内交流会、⑧小学校学習支援

第4回「夏井川かわくだり」

開催のお知らせ



平成29年9月10日(日曜日) 小雨決行

河川増水の場合は中止します

■集合時間・場所：午前10時 いわき市平鎌田・夏井川親水公園

■当日のプログラム

- ①カヌー教室
- ②カヌー・ゴムボートによる川くだり※
- ③川あそび(笹舟競争・石重さ当てクイズなど)
- ④ゴミ拾い

※約1.8kmくだります

終了は午後2時頃を予定しています)

[各自準備するもの]

- ◆昼食・飲み物
- ◆着替え(水にぬれても良い服装・靴、帽子など)
- ◆参加費は無料です

★小学生以下のお子さんは必ず保護者同伴で申込み下さい
(30名までとさせていただきます)

参加申込/問合せ

下記電話番号またはFAX、メールで9月5日(火)までお申し込み下さい

橋本孝一 TEL・FAX) 0246-22-2621 E-mail) khashi0823@hotmail.co.jp

田中博文 TEL) 090-2797-7856 E-mail) tanaka@tisitu.co.jp



●主催 夏井川流域の会、夏井川流域住民による川づくり連絡会
●後援 福島県(予定)、いわき市(予定)

報告① 平成29年度 総会が開催されました

御報告が遅くなりましたが、去る5月14日(日)、第18回目となる総会が、小川公民館で開催されました。

◆総会では、平成28年度の事業報告・決算報告・監査報告がなされた後、平成29年度の事業計画・予算案が原案通り承認されました。事業報告では、年々、小学校における学習支援が増えつつあり、それらが平日に実施されるため、支援体制の強化が必要との指摘がなされました。

総会后、同会場で、「いわき地域の外来種」をテーマに、講座が開催され、3人の講師から話題を提供いただきました。講座では、平川英人氏から魚類を中心に、小林潤一郎氏からは、ウチダザリガニ等いわき地区における外来種について、木田都城子氏からは、植生を中心にお話をいただきました。



◆当会も所属し、事務局等を担っている「夏井川流域の会」の年次総会が、同会場で、13:30 から開催され、平成28年度及び平成29年度に係る事業・会計関係の諸提案が原案通り承認されました。今年度は、役員改選があり、引き続き、当会が事務局を担うこととなりました。

◆午後3時には、小玉ダムに移動し、夏井川漁協の方々のご支援を戴きながら、ウチダザリガニの採捕に挑戦しました。前日までの降雨の影響もあり、5匹ほどの採捕にとどまりましたが、漁協の方のお話では、かなりの数が生息しているようです。いわき地区でのウチダザリガニの生息域の拡大が懸念されます。(文責:橋本孝一)



※「ウチダザリガニ」～1926年に農水省が食用を目的に北海道摩周湖に移入・養殖に成功した。その後、5回輸入され、1都1道1府21県の水産試験場に配布された。日本固有種である在来種の日本ザリガニの生息域と競合して圧倒している。水生生物(魚類・植物)の被害も深刻で、陸水生態系に大きな影響を与えている。阿寒湖では天然記念物のマリモがウチダザリガニの被害にあっていることが確認された。北アメリカやヨーロッパでは食材として漁獲や養殖がおこなわれ、高級食材とされており、フランス料理では一般的な食材として扱われる。しかし他の淡水動物と同様に、本種は寄生虫の中間宿主となるので、生食や過熱不十分な物を摂食した場合に寄生虫症に感染するおそれがある。('ウイキペディア'より抜粋)



報告② いわき中央ライオンズクラブ様より「環境保全功労表彰」

田中博文

平成29年3月8日（水）いわきワシントンホテル椿山荘にて、いわき中央ライオンズクラブ様より当会の活動にご賛同され環境保全功労の表彰をいただきました。

当日は18：30から第857例会に招待され、開会ゴング、国旗敬礼、クラブ歌斉唱、誓い唱和、会長挨拶、前月行事・次月予定行事報告等、厳かな雰囲気のもと議事進行され、当会のゆるゆるい世話人会と違い、当会3名とも緊張し固まっておりました。議事の最後に環境保全功労表彰式、橋本代表による記念講演があり、閉会ゴングとなりました。例会後は同会場で皆さんの夕食会になり、ホテルの高そうなハンバーグを御馳走になりました。

ライオンズクラブ様は100余年の長い活動の歴史があり、それから比べると当会は平成12年発足から18年目とまだまだ浅い活動です。今回の表彰のきっかけは、昨年12月3日に好間公民館で開催された橋本代表の「水環境を活かしたまちづくり」講演に参加したことで当会活動の詳細を知り、アリオス裏のひょうたん島を定期清掃していたことも知っていたとの事でした。地道な活動を見守って下さる方々がいるとわかり、より一層地道に活動に励みたいと思いました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

記念公演



表彰状と金一封



【書籍紹介】



著者の竹村公太郎氏は、当会でも何度かお話を拝聴する機会を戴いており、ご存知の方も多いと思います。本書においては、既存のダム等の嵩上げ等により水力発電量を増やせることを明らかにし、日本のエネルギー政策に新たな提案をしています。ダムはエネルギー政策に留まらず、地域振興策としての水資源の活用が期待でき、数百年にも及ぶ「持続可能」な水力発電モデル案が提示されています。ぜひ、ご一読をお勧めします。

報告③

川ばた会議を開催しました

夏井川流域の会主催の「川ばた会議」が、平成29年3月18日、いわき市文化センターにて開催。山田一裕氏(東北工業大学教授)から「市民参加による水辺観察・水質調査への期待」と題してご講演をいただきました。

◆本会議は、夏井川流域の会(夏井川上流・中流・下流の個別団体が互いに交流し行政区を越えた流域全体で考えていくことを目的として結成した会)における事業の一環で、各団体の関係者が集まり総勢20名ほどの参加となりました。

◆まず基調講演として、東北工業大学工学部環境エネルギー学科・教授山田一裕(やまだかずひろ)先生により水質調査に加えて「五感で感じる水辺観察」、「誰もが参加できる水環境保全活動(水辺のユニバーサルデザインなど)」の重要性、行政や地域の事業者など多様な主体との連携拡大等についてお話しをいただきました。

◆講演後、川についての意見交換として、参加者からの質問や各立場での活動内容、川への思い等について意見が述べられ、今後の会の在り方や活動の進め方についてディスカッションしました。この結果を踏まえ、平成29年度事業に反映したいと思います。



報告④(寄稿文) 水源地視察－初めての福寿草祭り参加－

渡辺彩花

4月1日から2日にかけて、初めての福寿草祭りに参加させていただきました。会社に入って毎年3月上旬に阿部さんからお声がけを頂いていたのですが、毎年予定が合わず…。今年は3月までの疲れをリフレッシュしたい気持ちがいっぱい募りまして、何としてでも予定を空けて行く！と意気込んでおりました。せっかくお誘い頂いたこともあり、会社の後輩である柴田さんも誘ったところ、快くOKを貰い、今回は初参加の2人を含めた、計7人が参加しました。

◆いわきから阿部さんの運転で小野町へ。まず始めに向かったのは、移転した渡久製菓さん。以前阿部さんからお土産で頂いたことはありましたが、お店へ行くのは初めてです。レンタカーが大きいこともあり、細い道を通るときは多少ヒヤヒヤしましたが、無事移転後のお店へ到着。佐藤雅子さんの買い占めに仰天しつつ、ぬれ花豆の他、甘納豆を購入し、帰宅後美味しく頂きました。はなまめも美味ですが、甘納豆も美味でした。渡久製菓さんで高橋宗彦さんと合流し、運転も阿部さんから高橋さんへ。軽快な音楽とともに、郡山市に向かい、大越則恵さんと長谷川潔さんも合流し、山都町沼ノ平へ。

◆到着後、沼ノ平の福寿草会館で、天ぷらそばとお餅等でお腹を満たした後、物産コーナーへ行くと数々の土産品の他、鉢に入った福寿草が。祖母に福寿草を買ってきてもらいたいと言われていたので、即購入。大変喜んでもらえました。その後、いざ福寿草の群生する遊歩道へ。まだ雪

の残る、ひんやりとする遊歩道の中で、元気に芽吹く福寿草の姿はとても輝かしいものでした。



また、福寿草の脇にはチラホラとふきのとうの姿もありました。周りは雪に囲まれた山間でしたが、もうすぐこの場所に春が来るんだな、としばし感傷に浸りました。

◆その後は蕎麦プリンを食べたり、漆器屋さんへ行ったり、恒例となっているらしい朝ラーを食べたり、日本酒試飲巡りをしたり…。色々と割愛しますが、二日間、食べて買って、お腹と心を十二分に満たすことができました。自分では来ることができなかった場所や知らなかった場所や知識等、この二日間で心に残ったことは多くあります。連れて行ってくださり、ありがとうございました。

◆最後になりますが、運転手を務めてくださった阿部さん、高橋さん。また視察地の予約や会計等を務めてくださった長谷川さん、多種多様な知識を与えてくれた則恵さん、雅子さん。この二日間大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

追伸：雅子さんから頂いたふきのとうのお味噌。大変美味しくいただきました、ごちそうさまです。まだお礼が言えていなかったなので、この場をお借りしてお礼を言わせていただきます。ありがとうございました。



長床にて

報告⑤ 初夏の 夏井川沿いサイクリング

田中博文

平成29年5月7日（日）午前10時～午後2時まで、夏井川沿いサイクリングに参加しました。前回は平成27年4月以来の2年振りとなる開催で、前回とほぼ同じコースでいわき市平鎌田の夏井川左岸親水公園集合～右岸沿い～河口親水公園～左岸沿い～鎌田へ戻る片道約7kmの行程です。

出発してすぐ、たまたま地元の方と話しができ、出発地点近くの三島八幡神社の由来や洪水、新川合流部の古い歴史など聞くことができました。また、右岸沿い途中の如来寺で休憩し、車での行き来では決して立ち寄ることのなかった、鎌倉時代から建立されている深い歴史を味わいました。片道終点の河口親水公園で昼食休憩中に中々釣れないカニ釣りをしていたところ、居合わせた親子連れにも体験してもらうことができました。前日に定例の草刈りをしておいて良かったです。

帰りは、〇〇事務所が車以外通行を危険と認識していない磐城舞子橋を無事渡り、左岸沿いを安全に走りました。途中バードウォッチの方と話しができ、河川での色々な利用があるものだと思います。その後は段々と口数が少なくなり、スピードもやや上がりぎみでゴール地点の鎌田へ戻ってきました。

天候は薄曇りで丁度良く、前回参加のアクティビティ担当Oさんが不在だったためか、今回は行き帰りとも向かい風が少なくとても心地よく走れました。それにしても80歳半ばのTさんの走りっぷりには敬服させられました（前回もそうですが・・）。皆さん、もう体が・・・なんて言っていられません。健康づくりをしながら、自転車ならではの醍醐味を味わいましょう。自転車が無い方は、事前にお話しあれば数台なら用意可能です。次回は是非ご参加下さい。

出発前の元気な顔



地元の方から古い話しを聞く



夏井川を見ながら疾走



如来寺で休憩



河口付近では眺望悪し



磐城舞子橋はチョ～危険



報告⑥ 平成29年度 夏井川流域一斉水質調査

阿部 孝男

夏井川流域の会主催の「夏井川流域一斉水質調査」は今年で11回目を迎え、6月4日（日）に行いました。下流は児童2名、福島高専の学生さん5名を含む約30名が参加し、参加者の皆さんには現地採水から協力して頂き、小川公民館で水質調査を行い、午後は公民館前の河原で水生生物調査とアクアボールを行いました。採水は例年どおり、夏井川の本川及び支川の21地点（下流）で同時採水し、今年も昨年同様川砂（又は泥）の放射性物質の検査も行いました。

採水時現地計測—「流速」「水温」の他、川の様子などのメモ

採水した水は小川公民館でパックテストなどの検査を行い、記録表に書き込んでいきました。

小川公民館計測—「COD(パックテスト)」「導電率」「pH(ペーハー)」「におい」「透視度」



パックテストなどの様子



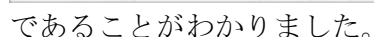
透視度計測の様子

COD、BOD、pH、導電率は福島高専さんの協力を頂き公定法により計測しました。
川砂の放射性物質はパルスシステムさんの協力を頂き計測しました。

調査結果は、グラフに示すとおりですが、過去10年間の結果と比較してみると、全体的に均等に良い値を示していますが、最下流付近ではやや高い数値が確認されました。（夏井川本川のみ—福島高専公定法によるCOD値）

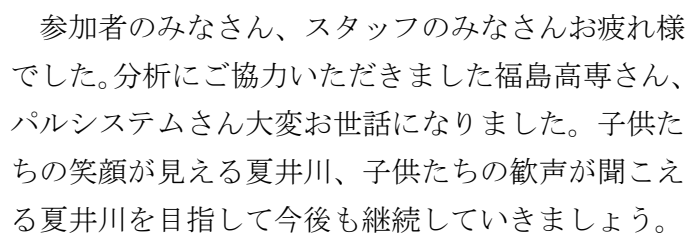
平成29年度 夏井川流域一斉水質調査 結果表

平成29年度 夏井川流域 水質調査 結果表															
実施日:平成29年6月4日(日)、午前10時 採水			天候:晴れ		調査員:夏井川本川					実施主体:夏井川流域の会					
NO.	河川名	採水地点	現地計測結果		現地一斉試験結果「1〜6」:小野町こまち交流館「7〜28」:小川公民館					室内試験(福島高専での測定結果)					
			水温 ℃	流速 m/秒	COD(パックテスト (3回平均値) mg/L	導電率 mS/cm(※)	pH	におい	透視度 cm	アンモニア性窒素 NH4-N「7」が 中性	pH	導電率 mS/cm(※)	COD mg/L	BOD mg/L	川砂の放射性濃度 (CS134+CS137) ヘルム(Bq/Kg)
1	夏井川	神保・滝橋中前	13.0	0.10	2.0	10.2	8.0	なし	100以上	0.2	7.2	15.6	0.4	0.2	55.0
2	梵天川	夏井川合流前	12.0	0.25	4.6	22.6	7.7	なし	92.6	0.2	7.5	28.6	2.2	0.8	40.9
3	夏井川	梵天川合流後	12.0	0.13	4.0	32.0	7.6	なし	100以上	0.2	7.6	25.7	1.8	0.4	45.8
4	右支夏井川	飯堂	12.0	0.13	6.0	18.1	7.8	なし	100以上	0.2	7.5	19.2	2.3	0.4	18.4
5	右支夏井川	小野町役場裏	13.5	0.35	4.0	12.8	7.6	なし	100以上	0.2	7.5	19.6	2.1	0.8	27.4
6	夏井川	夏井1小前	12.0	0.29	4.0	14.7	7.7	なし	100以上	0.2	7.5	21.7	1.8	0.8	35.3
7	夏井川	五味沢	14.8	0.29	1.7	12.2	7.0	微妙な川藻臭	86.5	0.2	7.7	18.5	1.2	0.8	46.6
8	夏井川	三坂川合流前	14.5	0.33	1.7	14.9	7.0	微妙な川藻臭	73.0	0.2	7.8	22.1	1.7	0.6	27.6
9	夏井川	三坂川合流後	14.6	0.40	3.0	14.7	7.0	なし	79.0	0.2	7.8	20.6	1.6	1.0	99.7
10	夏井川	塩又川合流前	15.5	0.50	2.0	14.0	7.2	塩素の臭い	93.0	0.1	7.8	20.5	1.6	1.0	39.8
11	鹿又川	夏井川合流前	12.0	0.50	2.0	4.9	7.0	なし	100以上	0.2	7.8	6.9	0.7	1.2	73.2
12	夏井川	加路川合流前	15.5	0.37	3.0	11.8	7.4	塩素臭	90.0	0.2	7.6	16.1	1.8	1.4	69.3
13	加路川	夏井川合流前	12.0	0.47	2.0	6.9	7.4	薄い塩素臭	100以上	0.2	7.6	9.4	0.2	0.6	64.1
14	夏井川	小川公民館前	17.0	0.25	4.0	11.6	8.0	なし	95.0	0.5	7.7	16.2	1.7	0.6	67.2
15	小玉川	夏井川合流前	17.0	0.20	3.3	11.1	9.2	なし	78.0	0.2	7.7	16.0	2.1	1.0	64.3
16	夏井川	久太夫橋	17.0	0.43	3.3	12.5	7.0	木炭?	75.0	0.2	7.7	17.9	1.7	0.6	27.4
17	茨原川	縮ムシナ橋	18.0	0.14	5.6	33.3	6.7	砂の臭い	100以上	0.5	7.2	48.0	1.5	0.8	27.6
18	夏井川	変谷堰下	15.8	0.33	4.0	12.5	7.0	なし	60.0	0.2	7.4	19.9	1.5	0.4	-
19	夏井川	勢城橋	16.0	0.50	4.0	13.3	8.0	なし	81.0	0.2	7.5	18.8	1.5	1.2	28.8
20	好間川	松坂つり橋	18.0	0.30	2.0	21.0	7.7	なし	78.0	0.2	7.5	30.5	0.6	1.0	97.9
21	好間川	北目	17.2	0.70	3.0	22.9	7.0	少しゴミの臭い	95.0	0.2	7.4	33.3	1.1	1.8	32.2
22	夏井川	鉄田	19.0	0.60	2.3	14.0	7.0	なし	73.0	0.1	7.4	20.5	1.8	1.6	22.2
23	新川	阿勢蛇堂前	18.0	0.31	0.0	28.8	7.4	微妙な川藻臭	100以上	0.2	7.7	42.2	0.6	0.6	159.0
24	新川	いわき総合高校前	18.0	0.20	3.0	46.2	6.9	磯の臭い	97.0	0.5	7.7	68.3	1.9	1.2	102.0
25	新川	古川橋	18.0	0.10	5.3	45.7	6.7	微妙な川藻臭	96.0	0.4	7.4	68.0	2.1	1.4	21.3
26	夏井川	六十枚橋	18.0	0.10	5.0	17.9	6.7	青臭い	76.0	1.0	7.4	26.6	2.0	2.0	-
27	夏井川	河口	18.0	0.00	6.0	39.8	6.6	青臭い	40.0	0.2	7.4	51.1	4.3	3.7	108.0
(※)導電率の単位: $\mu S/cm$ (マイクシー・センチメートル) ※COD値はパックテスト3回の平均値										平均値	7.55	27.16	1.62	1.05	56.04



採取した水生生物は、ヒラタカゲロウ、チラカゲロウ、ナミウズミシ、カワゲラ、チラカゲロウ、ヒラタドROMシなど水質階級Ⅰの“きれいな水”～水質階級Ⅱの“ややきれいな水”に棲む生物が確認され、調査地点はきれいな川

A group of people are wading through a shallow, rocky river. The water is clear, revealing numerous large, smooth, light-colored rocks scattered across the riverbed. The surrounding landscape is lush and green, with dense vegetation on the banks and rolling hills in the background under a bright sky.



報告⑦ 平成29年度福島県水環境活動団体交流会 参加報告

阿部 孝男

6月25日（土）～26日（日）の二日間に亘り、平成29年度福島県水環境活動団体交流会が猪苗代湖志田浜湖畔のレイクサイド磐光で開催されました。夏井川流域の会の渡辺彩花さん（暫定会員？）の司会進行で、高橋宗彦会長のあいさつに続き来賓あいさつがありました、

川の授業1校時は「小河川における水災害の緩和に向けた田んぼダム事業の取り組み」と題して日本大学工学部准教授の朝岡良浩氏に、水田の貯水効果を利用した防災対策に繋がる各地での取組等を事例にお話いただきました。

川の授業2校時目は「猪苗代湖の特徴と水環境保全活動」と題してNPO輝く猪苗代湖をつくる県民会議副理事長の長澤金一氏に、猪苗代湖の水質等の変化や保全活動についての取組等についてお話いただきました。その後以下の5事例について発表がありました。

- ①「赤面山を緑にする会の活動」赤面山を緑にする会 金沢隆夫氏
- ②「ウチダザリガニの調査と駆除」裏磐梯グリーンツーリズム協会 真野真理子氏
- ③「夏井川で遊ぶ、学ぶ、体験ツアー」小野自然倶楽部・夏井川流域の会 大方俊浩氏
- ④「猪苗代湖志田浜の保全活動」レイクサイド磐光支配人
- ⑤「福島県土地水調整課の事業活動について」福島県土地水調整課 柳沼善之主査

続いて当会代表橋本先生が意見交換会の座長を務め、参加者から基調講演・事例発表についての質問や提案、また各地での多様な活動での苦慮していることや提案など活発な意見が出されました。



朝岡先生の講演



交流会の様子



志田浜湖畔にて

交流会終了後はみなさんお楽しみの懇親会です。交流会で話せなかったことや参加者それぞれの思いなど、差し入れの各地の“命の水”を頂きながら楽しく盛り上がりました。

その後、二次会～三次会へと・・・。

二日目は現地視察で安積疎水土地改良区さんの案内で普段は見られない地下分水工を見学し、志田浜湖畔からアクアマリンふくしまカワセミ水族館と福島県環境創造センター猪苗代湖資料館を見学しました。その後昼食でおいしい蕎麦を頂き解散となりました。

来年は南会津で開催する予定となっています。



報告⑧ 小学校学習支援活動 報告

平成29年度に入り、三和小学校、夏井小学校、好間1小、好間4小の学習支援を行いました。この内、支援が一段落した、三和小と好間4小の支援内容について報告します。

【1】三和小学校学習支援

三和公民館の主催の「学校・家庭・地域パートナーシップ推進事業」として、三和小6年生21名を対象に、3回にわたって好間川の水環境について取り組まれました。当会では、学習支援の分野で支援しました。

①好間川水源林の観察（5月30日）：事前学習では、

いわき地区林業活性化センター事務局長の松崎正信さんから、三和町の森林のこと、森林のもつ大切なはたらきについて、当会の橋本から「好間川流域と生活とのかかわり」についての学習の後、市営バスにて水源地である「雨降山」へ。地元の加藤公昭さんの案内で、杉・ヒノキ林の様子、森の維持管理に関する話等の説明に耳を傾けながら、水源をめざしました。山頂に近い所で、湧水点を見つけ、少し土を掘り起こすと、水面が現れてくるのを観察しました。皆、水を豊かに湛える森林の力を実感したようでした。



②好間川の水生生物・水質調べ（5月31日）：学校前を流れる好間川で、水生生物を採取・観察しました。当初、恐る恐る川に入って見た子供達も、すぐに川の感触に馴れ、川の石の裏をこすったりしながら、夢中になって水生生物を採取していました。

◆水生生物調べの後、理科室に戻って好間川の水質調べを行いました。予め採取しておいた4箇所（源流、学校前、好間川下流、夏井川との合流点）の水質をしらべました。においや有機物、透視度などで比較して調べ、レーダーチャートにまとめました。調査の結果、やはり源流に近いほど、きれいでよい水質であることが分かりました。



③好間川下流の見学会（6月15日）：バスで三和小を出発し、49号線沿いに流れる好間川を見ながら好間川沿いに下流に向かいました。夏井川本川との合流点に近い好間川下流の愛宕橋では、バスを降り、愛宕橋から平橋まで歩き、平橋の上から好間川と夏井川との合流点を見学。夏井川河口では、地元の方の投網の様子を見せていただき、ウナギや小魚などがとれ、上流部の好間川との生き物の違いを体感できたようでした。



【2】好間第4小学校学習支援

当会としては、好間4小の児童を対象とした支援は、はじめてです。NPO 法人いわき環境研究室との共催事業として、3日に分けて取り組まれました。3,4年生8名の児童を対象に実施しました。

①学校近傍の好間川の水辺観察（6月23日）：事前学習として、好間川流域の話をした後、徒歩で、学校近くの水辺に行き、様々な視点から水辺の様子を評価してもらいました（日本水環境学会が作成した「水辺のすこやかさ調べ」に準拠）。少し難しい設問だったようですが、グループ毎に評価に挑戦してくれました。

②水辺の観察（6月28日）：学校より100mほど上流の水辺で、流れの様子の観察、水生生物調査を行いました。子供たちの笑顔が印象的でした。その後、教室に戻って好間川の水質分析をし、学校近くの好間川は、「きれい」な水であることが分かりました。

③水源～河口までを辿る（7月7日）：バスで、好間川水源地の雨降山まで行き、沢沿いに歩き、流れの様子が、少しずつ変化していくのを観察しました。途中、流れに手を入れて感触を楽しんだりしました。その後、好間川と夏井川との合流点を見て、夏井川河口まで移動。太平洋海を見ながらの昼食弁当は格別だったようでした。また、地元の方の投網実演の後、それぞれ、カニ釣りに挑戦。午後2時過ぎに帰校しました。

なお、好間4小支援に係る支援講座では、事前・事後のアンケートをとらせていただきました。ご協力いただいた先生方に感謝申し上げます。今後の講座を進める上で参考にさせていただきます。



皆で水辺の評価に取り組む



学校近くの好間川で水生生物調査



好間川水源地の様数を観察



夏井川河口で、ウナギに触れる

<世話人会から>

○追悼文

去る4月1日、当会副代表世話人（前事務局長）の村上繁様が、81才で逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表させていただきます。

村上繁さんは、内郷高坂町立野にお住まいでした。長年、内郷地区を中心にさまざまな社会活動の中心的存在として活躍してこられました。私は、新川の浄化運動を契機に、村上さんとは30年来のお付き合いを戴いておりました。進取の気性に富んでおられ、早い時期に車の免許を取得され、また、ワープロも諸機能を使い熟し、文書作成等を一手に引き受けて下さっていました。子供対象の水辺の学習支援時等でも、様々に工夫された道具を用意して下さいたり、私には、非常に心強い兄貴のような存在でした。病床にあっても夏井川流域NWの活動を気にかけて下さっていました。そのような村上さんと一緒に活動ができなくなってしまった今は、心のどこかに大きな空洞ができてしまった思いです。村上さんの夏井川に対する想いを引き継ぎ発展させていくことが、ご遺志を引き継ぐことになる信じ、私たちの会の原点でもある「子供たちの笑顔が見える夏井川をめざして」頑張ることをお誓いし、改めて、村上繁さんのご冥福をお祈りしたいと思います。（2017.7.27 橋本孝一）

○助成金取得のお知らせ

公益財団法人河川財団の「平成29年度河川基金」から、「流域一体化を目指した上下流連携事業」として申請していたところ、事業推進のための助成金35.5万円を戴けることになりました。「川下り」等の事業実施を充実させる上で有効に活用させていただこうと思います。

○夏井川河口親水公園の草刈りを行なっています

毎月第一土曜日、夏井川河口右岸の親水公園（パターゴルフ場の奥）の草刈りを朝7時半から1時間半程度行なっています。雑草は一日1.5cm伸びるようで、ひと月後にはすっかり元通りになっています。草刈機以外でも親水階段の清掃、ゴミ拾いなど応援をお願いします。

○学習支援のスタッフ登録して下さい

年々、小学校や地域子供会等からの「水辺の学習」支援の要請が増えつつあります。大変喜ばしいことなのですが、私たち支援者の人数が不足気味です。特に、学校の支援講座では、平日での対応となり、リタイアした会員中心に支援グループを組んで対応しています。どなたか、お手伝い下さい。支援可能な方、身近な世話人、どちらでも結構ですので、お声をかけて下さい。

～～～ 会員の皆様からの御寄稿をお待ちしております。～～～

会報 第44号

2017.7.26

発行：夏井川流域住民による川づくり連絡会

事務局：〒970-8017 いわき市石森2丁目9-17 永井 精

Tel.0246-88-7388